

南蒲小学校の行事予定及び学校運営に向けた取組について

1 主な年間行事予定について ※別紙あり

5月：開校記念日98周年 運動会
6月：南蒲フェスティバル 学校公開
7・8月：夏休みわくわくスクール
10月：道徳授業地区公開講座 学校公開
11月：学習発表会
2月：体育健康教育授業地区公開講座 学校公開 6年生を送る会
3月：卒業を祝う会 卒業式 修了式
※夏休みわくわくスクールの運営はスクールサポートなんぼが行う。今後コミュニティスクールと連携を図る。

2 時程について

令和7年度		時 程 表		南蒲小学校		
	月・水	火・木・金	土	短縮		
入室時間・朝の準備	8：15～8：25					
朝会/集会	㊦8：30～8：40	8：25～8：45		8：25～8：35		
朝学習・朝の会	㊦8：25～8：45					
1校時	8：45～9：30		8：35～9：20			
2校時	9：35～10：20		9：25～10：10			
中休み	10：20～10：35		10：10～10：25			
3校時	10：40～11：25		10：30～11：15			
4校時	11：30～12：15		帰りの会 11：25～11：35 ㊦11：45		11：20～12：05	
給食	12：15～12：55				12：05～12：45	
昼休み	12：55～13：15				帰りの会 12：50～13：00	
そうじ	13：15～13：30				㊦13：00	5校時 13：00～13：45 ㊦13：50
5校時	13：20～14：05	13：35～14：20			6校時 13：50～14：35 ㊦14：40	
6校時		14：25～15：10				
帰りの会	14：05～14：15 ㊦14：25	15：10～15：20 ㊦15：30				
委員会 クラブ	14：15～15：00 ㊦15：10 14：15～15：15 ㊦15：25					

☆最終下校時刻☆
4校時 12：30（給食なし）
4校時 13：15（給食あり）



☆最終下校時刻☆
4校時 12：30（給食なし）
4校時 13：15（給食あり）
5校時 14：40



3 学力向上について

(1)朝自習

(ア) 時 間 8時25分から8時35分(10分間)

(イ) 内 容

- ・読書(今年度より読書活動の充実のため、朝学習の基本を読書とする)
- ・特別活動(個人目標の振り返り、たてわり班の打合せ、係活動など)
- ・なんぼーラン(3～5分程度の持久走 6月中旬から10月上旬は中止)

(2)国語補習:金曜日(担任が行う)

(ア) ねらい

授業改善プランにおける重点指導事項の内容についての能力を向上させる。

	令和6年度(昨年度)重点項目 ※8月末に更新あり
低学年	◎視写や聴写など正しい表記・表現を意識した指導を取り入れたり、短作文や日記など文章を書く機会を多く設定し、正しい文字や文章を書くことに慣れさせたりする。
中学年	◎「書くってたのいいね」や「言葉の宝箱」、手本となる作文等を用いて、作文の構成や適切な表現の仕方を身に付ける。
高学年	◎短作文や感想を書いたり、複数の情報をもとに自分の考えを述べたりする場面を増やすとともに、その中で文の構成や修飾・被修飾の関係に触れる。

(3)算数補習:火曜日 木曜日(学習補助員の先生1名(算数少人数担当教諭)が行う)

(ア) 実施曜日及び時間

曜 日	学 年	6時間授業の時	場 所
火曜日	3年生・5年生	15:20～16:00	3F算数少人数教室
木曜日	2年生・4年生	(5時間の時 14:25～15:05)	
火・木曜日	1年生・2年生	14:30～15:10	各教室

(イ) 保護者に参加希望調査を行い、担任から対象者本人に補習教室への参加を呼びかける。

(4)主な家庭学習の内容

★全学年:音読、Chromebook(ドリルパーク、ローマ字、タイピング、課題配信など)

1年生(20分間):ひらがな・カタカナ・漢字、計算

2年生(30分間):漢字、計算

3年生(40分間):漢字、計算、自主学習ノート

4年生(50分間):漢字、計算、自主学習ノート

5年生(60分間):漢字、計算、二行日記、自主学習ノート

6年生(70分間):漢字、計算、自主学習ノート

(5)家庭学習週間 年間3回(各学期1回) 家庭学習の目安(10分×学年+10分)

「勉強した内容(音読、漢字練習、計算練習、読書、調べ学習、家庭学習、明日の用意)など」をチェック欄に記入する。また、「勉強した時間」や「お家の方のコメントやサイン」の記入を行い、学習週間が終わったら児童が「感想」を書いて学校へ提出する。

1学期	5月26日(月)から30日(金) カード提出日 6月2日(月) ※6年生は移動教室のため、後日提出
2学期	9月 8日(月)から12日(金) カード提出日 9月16日(火)
3学期	1月19日(月)から23日(金) カード提出日 1月26日(月)

4 生活指導について

(1)「すくすくなんぼ」「SNS なんぼマナー」

「すくすくなんぼ(1～4年生用)」は、児童が、テレビやゲームなどに時間をとられすぎないように、また、「SNSなんぼマナー(4～6年生用)」は、SNSを利用する際のマナーについて考えたものです。どちらも家庭生活がより充実したものになるように、作成したものです。「すくすくなんぼ」、「SNSなんぼマナー」を参考にして、マイルールをご家庭で話し合っ決めて、家庭内に掲示してくださるようお願いしています。

(SNSは、ここでは、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などで利用できる電子メール、掲示板、画像投稿サービスなど、インターネット上でコミュニケーション可能なサービス全般を指します。)

【 参考 】 ○はお勧めします。 ×は考え直させてください。

すくすくなんぼ	SNSなんぼマナー
○学校から帰ってきてすぐに宿題をする。 ○何時～何時に宿題をする。 ○テレビを見る時間を決める。 ○ゲームをする時間を決める。 ○テレビの終了時刻を決める。 ○ゲームの終了時刻を決める。 ○何曜日はゲームをしない。 ○晴れた日は、ゲームをしない。 ○夕食の時間を決める。 ○夜、寝る時刻を決める。 ×好きなだけ、ゲームをする。	○一日の使用時間と終了時刻を決める。 ○充電器を置く部屋を決める。 ○家で携帯電話やスマートフォンを使わない日を決める。 ○自分の個人情報には載せない。 ○友達の個人情報には載せない。 ○相手の気持ちを考えて、送信前に、よく読み返して送信する。 ×自分の気が向いたときに使用する。 ×親の携帯電話やスマートフォンを借りて使うので、マイルールを決めない。



知ってる!? SNS には年齢制限・推奨年齢があります!!

- LINE
- TikTok
- Instagram
- X (旧Twitter)

利用推奨年齢 13 歳以上
視聴・投稿共に 13 歳以上利用可
アカウント作成は 13 歳以上利用可
18 歳以上利用可



年齢制限がある SNS を使う場合、保護者の方がアカウントを作り、投稿も保護者側で行うという形で運用する以外に方法はありません。
基本的には、運用に関する全ての権限を保護者側で管理するようにしましょう。

(2)なんぼのよい子(一部抜粋)

◆登下校

- 通学路を頑張って登下校しましょう。寄り道はいけません。
- 登校・入室時間を守りましょう。(8:15～8:25)
- 交通ルールを守りましょう。
 - ・歩道のないところは右側通行。ガードレールのあるところはその内側を通ります。
 - ・飛び出しや、車のすぐ前、すぐ後ろの横断はしません。
- フードをかぶったまま、ポケットに手を入れたまま歩きません。
- ランドセルのフックには、安全上、防犯ブザー以外何もかけません。
- 知らない人にさそわれても、ついていけない。マンションや団地のエレベーターには、なるべく一人で乗らないようにしましょう。
- 休みの日に学校に用事がある時でも、自転車で学校には来ません。

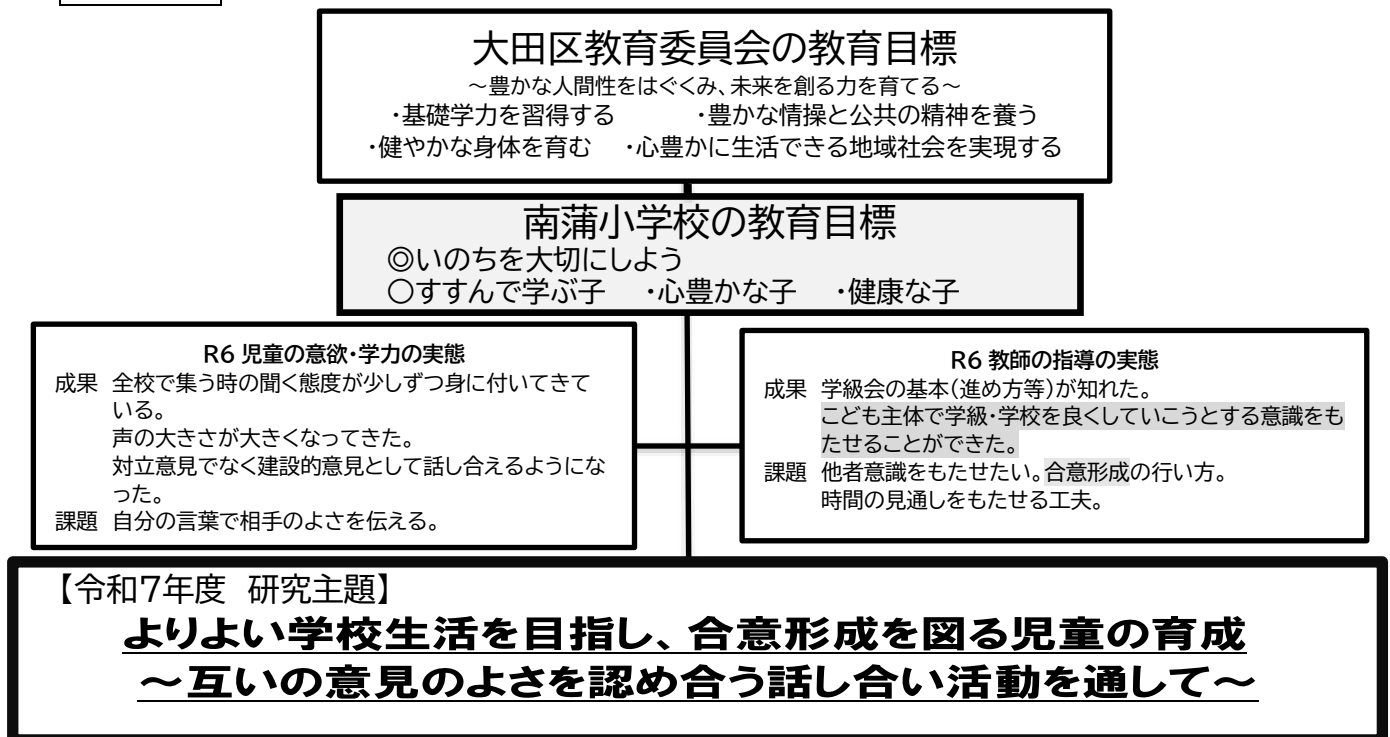
◆放課後

- ◎学校に忘れ物があっても、取りに来てはいけません。どうしても必要なときは、家の人についてきてもらい、必ず先生か警備主事さんに断ってから教室に入りましょう。
- ◎知らない人に声をかけられて困ったときは、「こどもSOS」の家に入って助けを求めましょう。
- ◎住所や電話番号の問い合わせがあっても、個人情報を決して教えてはいけません。
- ◎遊びに行く場合は、「どこで・だれと・いつ帰る」のか、家の人に伝えましょう。
- ◎3年生の自転車教室までは、自転車はこどもだけで乗ってはいけません。
- ◎暗くなる前に、家に帰りましょう。(5時のチャイムは、家で聞けるように帰りましょう。)
※11月1日～2月28日までは4時半に家に帰りましょう。
- ◎こどもだけで学区域外から外にでて遊びません。(裏面で確認)
 - ・商業施設(映画館、ゲームセンター、カラオケ、カードショップなど)やたま川へはこどもだけで行きません。
 - ・お金を持って遊びに行きません。
- ◎休みの日に午前10時前には友達を誘って遊びません。
- ◎クロームブックを充電しましょう。

5 校内研究について

こどもたちの自尊感情を向上させるため、特別活動(学級活動1))を通した教育活動を行います。こどもたちが自ら話し合い、よりよい学級や学校生活をつくっていくこの活動を充実させることにより、将来にわたって健やかに生きていくための土台がつくられていくと考えています。学級会では、一人一人が意見を出し合い、みんなで物事を決めたり、問題解決したりしていきます。自分の意見が受け止められ、クラスの役に立った経験は、「自分は必要とされている」という実感につながります。また、友達の意見を尊重したり、仲間のために行動したりすることで、お互いを認め合う空気も育まれます。こうした日々の積み重ねが、こどもたちの自尊感情を高め、自己肯定感や自己有用感へとつながっていくと考えています。

研究構想図



○言葉の定義

「自尊感情」…自分のできることできないことなどすべての要素を包括した意味での「自分」を他者との関わり合いを通してかけがえのない存在、価値ある存在としてとらえる気持ち。